

J a N e t が企業と若手の未来活動を活発化

第5回セミナー「東京海上グループ 米国事業 挑戦と成長」も好評

NPO法人J a N e t
が主催する活動「Future
Japan! MENTOR
Network(FJMN)」は
企業と若手の未来活動を
活発化させることを目的
に、ニューヨークで活躍
する企業人を「メンタ



講演後、多くの参加者が梅田恒樹氏(右)と懇談し、仕事の相談などを行った。=9日、ニューヨーク(J a N e t 提供)

ー」と位置付け、経験や、知識、視野を若手に伝えながら交流の輪を広げる活動を行っている。その一貫として9日、マンハッタンのレストランで第5回社長／エグゼクティブセミナーを行った。今回のセミナーには企業人メンターとしてTokio Marine Management, Inc.のPresident&CEOの梅田恒樹氏が招かれた。

講演は「東京海上グループ米国事業 挑戦と成長」と題し、梅田氏の自己紹介に始まり、東京海上グループの概要と米国での事業展開、企業理念、海外ビジネスパーソンとしての経験談や学びなどが、実体験でのエピソードを交えながら話された。

同グループは1879年に日本初の損害保険会社として創業して以来、



梅田氏の講演に熱心に耳を傾ける参加者たち(同)

各種の保険事業をグローバルに展開する。2011年に米国事業開始後100年を迎え、現在、全米の企業分野の損害保険会社のランキング10位を誇る。梅田氏は、同グループが企業買収により商品ラインアップを広げ、成長した軌跡や、その過程

で、日米両国の社員がチームで業務を行う際に感じた日米の考え方の違いなどを話した。

また、グループの企業理念「Good Company」についてや、東日本大震災で事故の支払い体験から自社のサービスがどのように人の役に立っているかを身をもって学んだことも語った。Q&Aでは、参加者から多くの質問が投げ掛けられ、Senior Vice Presidentの橋高友也氏と共に「歴史と規模の大きな会社でどのように挑戦をしたか」「日本人独特の企業理念を米国人にどのように浸透させたか」などの質問に答えた。また講演終了後も、参加者

たちと会話し交流した。今回の後援はニューヨーク日本商工会議所(JCCI)。FJMNでは、このようなセミナーを開催し、米国での第一線で活躍するエグゼクティブから事業の様子を共有しつつ、参加者個人の将来の目標設計や視野が広がるような質疑応答の懇親の場を設けている。J a N e t 理事長の榮枝洋文氏は「J a N e t では向上心のある人全てを若手の対象としています。ニューヨークという素晴らしい環境で、企業人と若手の輪を広げ、未来への社会貢献につなげたい」と、活動への思いを述べた。



講演を行う梅田氏(同(撮影:野村))